

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イズミ新祇園店新築工事	階数	地上3F
建設地	広島県広島市安佐南区西原5丁目432-4他46筆	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	2,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年7月1日
敷地面積	12,061 m ²	作成者	清水建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	8,723 m ²	確認日	2022年7月1日
延床面積	18,770 m ²	確認者	清水建設株式会社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 79%
③上記+②以外の 79%
④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.3)

音環境	3.4
温熱環境	2.1
光・視環境	3.9
空気質環境	4.5

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.6)

機能性	3.6
耐用性	3.5
対応性	3.7

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.9)

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.4)

建物外皮の	3.5
自然エネ	3.0
設備ンステ	3.5
効率的	3.5

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.7)

水資源	3.4
非再生材料の	3.8
汚染物質	3.6

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.4)

地球温暖化	3.8
地域環境	3.1
周辺環境	3.2

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.6	スコア = 2.3	スコア = 3.4
設計の計画的特段に配慮した事項 断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。//LED照明等の高効率な設備機器を導入している。//エネルギーに関する運用管理体制の計画がある。//省水型機器の採用や躯体と仕上げ材が容易に分別可能な材料を使用し資源保護に配慮している。//LCCO ₂ 排出量削減に配慮している。	設計の計画的特段に配慮した事項 /十分なスペースの駐車・駐輪場確保、渋滞緩和に配慮した導入計画で交通負荷の抑制を図っている。	設計の計画的特段に配慮した事項 更新間隔の長い内装材料、配管材料等を採用し耐用性の向上を図っている。//電気配線、通信配線は配管配線等により仕上材を傷めず修繕・更新できるような計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される